



湊 鮎 美さん
(山田・21歳)

名物食べ歩きをしたい

★どんな仕事をしていますか
大沢のドラッグストアに勤務して三年目になります。主に化粧品売り場を担当しています。
★仕事で心掛けていることは
化粧品について聞かれたことにすぐ答えられるように、セミナーに通ったり、自分で使ってみたりして勉強しています。
★仕事でうれしかったことは
わたしがお客様にお薦めした

商品が気に入っていただけたりは、とてもうれしかったです。
★趣味は何ですか？
ぬいぐるみを作ったり、お菓子を作ったりすることが多いかな。最近は食べ歩きにはまっていて、休みの日にはいろんな所に行っています。先日行った野田村の道の駅にある、塩ソフトクリームがおいしかったですね。
★今やってみたいことは？
県内の道の駅を巡って、名物の食べ歩きをしたいですね。沿岸はほとんど行ったので、次は内陸に行ってみようかな。

イラスト



まさしく「寒声」のお正月
特段寒かった十二月から新年を迎え、私の住む長内地区でも「寒声」(新年会)を三日前より四十四世帯の皆さんが一年間の会費(町に納める赤十字募金など)を持参して集まり、いろいろな行事(七福神など)について話し合いました。
私たち家族が三十五年前、長内地区に引っ越してきた時、皆さん「だ」という告げ事があり、どんな字を書いて、どんな意味があるのかと当時の長老に聞きました。すると、字は「寒声」と

書き、意味は、この寒いお正月に皆で声を出し合って、地区の人たちと交流をすることと聞きました。
各地で十二月の最大積雪量が更新されるなどとても寒かった今年の年末年始。まさしくこのお正月も「寒声」でした。
小原美保子(豊間根・61歳)
癒やされた「お楽しみ会」
保育園から「小正月お楽しみ会」の案内が届いた。年長児からかと思うが、「みずきだんごのつくりかたをおしえてください」と、温もりのある字で書いてあった。表紙には表情豊かな折り紙の祖父母。このように老いたいと心から思った。
十二日の朝早々、友人と保育園に出掛け、園児たちのあどけない顔に心が和んだ。全員で「雪」を斉唱。メインの遠野の語りべによる昔話では、笑いあり人情ありの方言と語り口に童心に戻った。「いっぶく」で、急須から注いでもらったお茶のおいしかったこと。手作り銘々皿に盛られた生菓子とみかん、ティーブルは彩られた。ホールにはミズキ団子がきれいに飾られ、心癒やされた。諸先生方、保護者の方々の心配りともてなし、ありがとうございました。
菊地サカエ(織笠・70歳)

冬枯れの庭に「輪寒椿」
菊地孝進(船越・84歳)
船乗り渡世一途
還暦を迎え余生を楽しむ
山崎泰司(船越・59歳)
酒も止め今は踊りも忘れかけ
松崎静雄(船越・?歳)
なんだかとても淋しくて
誰かと一緒にいたくなる
人がとても恋しくなる
だけど
一人になりにくくなる時もある
なんでもかなあ不思議だなあ
風の踊り子(長崎・21歳)

みんなのスペース



ふくだて もえ ちゃん
(山田町第一保育所・6歳)

わたしのゆめ

大きくなったらケーキ屋さんになって、ショコラケーキをお父さんとお母さんに食べさせてあげたいな。

古里への便り⑨



ふる里山田同郷の会事務局長
千葉県千葉市
湊 武 美さん(63歳)
[中央町出身]

私は、ふる里山田同郷の会事務局長の湊武美と申します。東京の大学を卒業してから、建設機械で有名な小松製作所に何年か勤務しました。それから給料は半減しましたが、もともと好きな美術関係の仕事をするべく日本橋の画廊に勤めました。無名な作家から文化勲章クラスの作家まで、多くの絵を扱いました。独立してからは日本もバブルの

最盛期で、面白いほどもうかりました。岩手には物故では萬鉄五郎や松本竣介という巨匠がいましたし、現存では森本草介という人気があつて平山郁夫先生をしのぐほどの作家もいます。今でもどんな人気のある作家を輩出しているのです。山田でも何人もアーティストがいます。特記すべきは中央町出身の女の先生で、佐賀錦の作品が日本伝統工芸展に入選して三越に展示されていたのには驚きました。私も創画会に入選して高島屋に飾られたこともあります。叔父の邦

夫も絵を描いていますし、知っているだけでも山田出身で今でも頑張っている方々がいるのです。せっかく銀座で画商の仕事をしていましたので、郷土の作家を紹介し発表する機会を私にやらせてください。三十三年の経験がある私にプロデュースさせてください。銀座の歌舞伎座の前にある「いわて銀河プラザ」で、物産品を売るだけではなく、岩手の誇るアーティストを紹介するコーナーパネルの場所があつてもいいのではないかと思います。現在、堀合辰夫先生と相談しながら県連合会に働き掛けようと努力しています。その結果はまたご報告します。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

公衆電話取り外しに疑問

ある時、地区の集会有り、山の内生活改善センターに行きました。私用で電話をかけようとしたら電話が取り外されておりました。びっくりしました。言うまでもなく現在、携帯電話が普及しています。また、町の財政も厳しいと思いますが、避難場所に指定しているのになぜ公衆

電話を取り外したのか、地区の一人として納得いきません。回答をお願いします。
山崎泰司(船越・59歳)
[回答・教育委員会]
公衆電話の取り外しについて回答致します。現在、地区の集会所などに設置されている公衆電話(ピンク電話)は、携帯電話などの普及によって、その利用は年々減少しています。山の内生活改善センターにおいても同様に減少しておりますが、これらの電話は使用の有無にかか

わらず一定の基本料金などを支払わなければならない、非効率的な利用になっていました。そのようなことから昨年の一月末に当センターを含め、教育委員会所管の十七施設の公衆電話を撤去しました。
当センターの避難場所としての対応ですが、災害が発生した場合の情報収集や連絡などは、当センターに配置された町職員が携帯無線で行うことになっておりますので、ご理解いただきたいと思います。